



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 アキレス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5142 URL <https://www.achilles.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 守

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理本部長兼経理部長 (氏名) 河野 和晃

TEL 03-5338-8238

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	19,274	△2.1	236	△32.6	354	△33.8	285	△26.9
2019年3月期第1四半期	19,678	△4.5	350	△23.6	535	△8.2	389	△53.2

(注)包括利益 2020年3月期第1四半期 100百万円 (△58.3%) 2019年3月期第1四半期 240百万円 (△68.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	18.01	—
2019年3月期第1四半期	23.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	75,086	40,864	54.4	2,594.79
2019年3月期	74,891	41,763	55.8	2,620.91

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 40,864百万円 2019年3月期 41,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,000	△2.5	500	△31.7	700	△35.7	500	△29.1	31.67
通期	85,000	△0.8	1,700	21.2	2,100	4.8	1,900	461.9	120.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 阿基里斯(佛山)新型材料有限公司

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	16,762,714 株	2019年3月期	16,762,714 株
2020年3月期1Q	1,014,099 株	2019年3月期	827,959 株
2020年3月期1Q	15,831,048 株	2019年3月期1Q	16,816,141 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済が好調を維持したものの、米中貿易摩擦や中国の景気減速など先行き不透明な状況が続きました。日本経済は、雇用環境の改善等により緩やかな景気回復基調が継続した一方で、世界経済の不確実性の影響が懸念される状況が続きました。

このような事業環境のもと、当社グループは企業価値の増大を目指して、お客様が求める商品・ブランド力のある商品創りに注力してまいりました。具体的には省エネルギー関連製品、環境対応製品、生活関連製品など成長分野とインフラ整備関連分野、およびグローバル化へと積極的な事業展開を推進するとともに、継続してコストダウンおよび省エネルギー・廃棄物の削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高 19,274 百万円(前年同四半期比 2.1%減)、営業利益 236 百万円(前年同四半期比 32.6%減)、経常利益 354 百万円(前年同四半期比 33.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益 285 百万円(前年同四半期比 26.9%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<シューズ事業>

ジュニア向けの「n☆p school (ニコ☆プチスクール)」、および走れるカジュアルシューズ「SL BY SYUNSOKU (エスエル バイ シュンソク)」が市場より高い評価を得られましたが、子供靴市場の競争激化により前年売上を下回りました。また、「こどもが一日で一番長く履く靴…だから、うわばきを変える。」をキャッチコピーに上市した高機能校内用上履きの「瞬足@SCHOOL」が好評を得ましたが、シューズ事業全体では前年売上を下回りました。

シューズ事業の当第1四半期連結累計期間の業績は売上高 2,445 百万円(前年同四半期比 7.9%減)、セグメント損失(営業損失)は 375 百万円(前年同四半期はセグメント損失 381 百万円)となりました。

<プラスチック事業>

車体内装用資材は、国内向けは前年並みを確保できましたが、中国・北米向けは自動車マーケット減速の影響を受け、全体として前年売上を下回りました。

フィルムは、半導体市況の低迷の影響と欧州向け窓用の苦戦により前年売上を下回りました。農業分野は、一部の地域で昨年の台風被害の復旧が遅れたことにより、前年売上を下回りました。

建装資材の床材と壁材は、製品値上げと新柄投入の効果により、前年売上を上回りました。

引布商品は、G20サミット警備ボートの受注や中国向けゴムボート材料の受注増により、前年売上を上回りました。

プラスチック事業の当第1四半期連結累計期間の業績は売上高 9,464 百万円(前年同四半期比 3.8%減)、セグメント利益(営業利益)は 764 百万円(前年同四半期比 19.4%減)となりました。

<産業資材事業>

ウレタンは、寝具・車輛・雑貨用など主力製品が好調に推移し、前年売上を上回りました。

断熱資材のシステム製品は倉庫等建築物向けの販売増、スチレン製品はブロック加工品の販売増により、前年売上を上回りました。パネル製品は畜産向けが前年好調の反動を受け、ボード製品も建築向けが苦戦し、断熱資材全体では前年売上を下回りました。

工業資材は、北米向けシリコンウエハー搬送用部材の輸出が増え、前年売上を上回りました。

産業資材事業の当第1四半期連結累計期間の業績は売上高7,364百万円(前年同四半期比2.5%増)、セグメント利益(営業利益)は476百万円(前年同四半期比9.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は75,086百万円で前連結会計年度末に比較して194百万円増加しました。

資産の部では、流動資産は45,793百万円となり前連結会計年度末に比較して384百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金が2,412百万円減少しましたが、現金及び預金が1,917百万円、商品及び製品が433百万円、原材料及び貯蔵品が276百万円増加したことによります。固定資産は29,292百万円となり前連結会計年度末に比較して189百万円減少しました。これは主に、有形固定資産が129百万円、投資その他の資産が63百万円減少したことによります。

負債の部では、流動負債は25,769百万円となり前連結会計年度末に比較して1,092百万円増加しました。これは主に、未払金が497百万円、支払手形及び買掛金が301百万円、その他流動負債が232百万円、電子記録債務が218百万円減少しましたが、短期借入金が2,503百万円増加したことによります。固定負債は8,452百万円となり前連結会計年度末に比較して1百万円増加しました。これは主に、繰延税金負債が26百万円増加しましたが、退職給付に係る負債が30百万円減少したことによります。

純資産の部は40,864百万円となり、前連結会計年度末に比較して899百万円減少しました。これは主に、自己株式の取得により362百万円、利益剰余金が352百万円、その他有価証券評価差額金が145百万円減少したことによります。以上の結果、自己資本比率は54.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2019年5月10日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2019年8月8日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,209	7,126
受取手形及び売掛金	21,760	19,348
電子記録債権	4,390	4,508
商品及び製品	9,144	9,578
仕掛品	1,504	1,750
原材料及び貯蔵品	2,068	2,344
その他	1,395	1,174
貸倒引当金	△62	△37
流動資産合計	45,409	45,793
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,154	8,139
機械装置及び運搬具（純額）	5,883	5,719
土地	4,180	4,180
建設仮勘定	462	542
その他（純額）	659	630
有形固定資産合計	19,341	19,211
無形固定資産	297	300
投資その他の資産		
投資有価証券	3,613	3,484
退職給付に係る資産	3,193	3,120
繰延税金資産	2,364	2,472
その他	726	766
貸倒引当金	△54	△63
投資その他の資産合計	9,843	9,780
固定資産合計	29,482	29,292
資産合計	74,891	75,086

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,658	12,356
電子記録債務	3,017	2,799
短期借入金	2,228	4,732
未払金	2,379	1,881
未払法人税等	269	107
その他	4,123	3,891
流動負債合計	24,676	25,769
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
繰延税金負債	373	399
退職給付に係る負債	4,636	4,605
資産除去債務	381	387
P C B廃棄物処理引当金	41	41
その他	18	18
固定負債合計	8,451	8,452
負債合計	33,128	34,222
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	6,712	6,712
利益剰余金	20,364	20,011
自己株式	△1,749	△2,112
株主資本合計	39,967	39,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	752	607
繰延ヘッジ損益	49	△8
為替換算調整勘定	7	80
退職給付に係る調整累計額	985	931
その他の包括利益累計額合計	1,796	1,611
純資産合計	41,763	40,864
負債純資産合計	74,891	75,086

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	19,678	19,274
売上原価	15,465	15,293
売上総利益	4,213	3,980
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,429	1,388
広告宣伝費及び販売促進費	246	239
貸倒引当金繰入額	△14	△16
給料手当及び福利費	1,415	1,390
退職給付費用	54	30
旅費交通費及び通信費	152	139
減価償却費	55	34
その他	523	538
販売費及び一般管理費合計	3,862	3,744
営業利益	350	236
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	30	27
持分法による投資利益	63	64
為替差益	16	—
不動産賃貸料	19	20
その他	79	46
営業外収益合計	210	160
営業外費用		
支払利息	8	8
為替差損	—	14
支払補償費	2	8
その他	15	10
営業外費用合計	26	42
経常利益	535	354
特別利益		
固定資産売却益	0	4
投資有価証券売却益	—	12
保険差益	8	4
特別利益合計	8	22
特別損失		
固定資産売却損	3	0
固定資産除却損	8	9
特別損失合計	12	9
税金等調整前四半期純利益	531	366
法人税、住民税及び事業税	95	57
法人税等調整額	46	24
法人税等合計	141	81
四半期純利益	389	285
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	389	285

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	389	285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	△145
繰延ヘッジ損益	210	△58
為替換算調整勘定	△289	50
退職給付に係る調整額	△5	△53
持分法適用会社に対する持分相当額	△42	22
その他の包括利益合計	△149	△184
四半期包括利益	240	100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	240	100
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、阿基里斯(佛山)新型材料有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

なお、阿基里斯(佛山)新型材料有限公司は当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	2,655	9,838	7,185	19,678	—	19,678
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	35	156	192	△192	—
計	2,655	9,873	7,341	19,871	△192	19,678
セグメント利益又は 損失(△)	△381	948	437	1,004	△654	350

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△654百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	2,445	9,464	7,364	19,274	—	19,274
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	38	161	200	△200	—
計	2,445	9,503	7,526	19,474	△200	19,274
セグメント利益又は 損失(△)	△375	764	476	865	△629	236

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△629百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。